

運動会を振り返って

2025.10.27 校長 西谷 秀幸

今月の12日（日）に運動会が行われましたね。あれから2週間が経ちましたが、今日は画面を見ながら、運動会を振り返ってみたいと思います。

まず、開会式。1年生が元気良く「はじめの言葉」を言ってくれました。校歌の時の鼓笛隊のユニホームと演奏も素敵でしたね。そして、計画代表委員が「運動会のスローガン」を発表してくれました。「楽しもう みんなが主役 笑顔のわ」…皆さんは、みんなが主役になって、運動会を楽しみ、笑顔をわをを広げることができたでしょうか。

次に、各学年の競技や演技です。

まずは、1年生から4年生までの「かけっこ」、5～6年生の「短距離走」です。1年生・2年生は、最後までまっすぐ走りきりました。3年生は初めてのカーブを上手にまわりながら走ることができたでしょうか。4年生・5年生・6年生と学年が上がるごとに、走る姿に迫力が増していました。（写真）写真はないのですが、転んでしまった子がいたときに、友達が優しく声をかけている姿もあって素晴らしいと思いました。

次に団体競技です。1～2年生の「カリスマックス玉入れ」は、最初は1年生だけで行い、途中から2年生が走ってから玉入れに参加していましたね。赤白、どちらもたくさん玉が入って、とても良い勝負でした。自分で作ったカラフルなメガネも素敵でした。（写真）

3～4年生の「台風の目2025」は、一番内側の子が力強く棒を回したり、外側の子がたくさん走ったりして、チームで協力してがんばっていました。（写真）

5～6年生の棒引き「天下分け目の食いしん棒決定戦」。1回戦は男子、2回戦は女子、そして3回戦は全員でものすごい迫力でした。さすがは5～6年生、素晴らしい勝負でした。（写真）負けた赤チームが、とても悔しいはずなのに、相手のチームにしっかりと拍手をしている人がたくさんいたことも、とても嬉しく思いました。（動画）

全校競技の「大玉おくり」は、全校で心を1つにして盛り上がりましたね。（写真）

次は、ダンスや表現です。1年生の「最高出力！カーテンコール」。テントの中では「可愛い！」という声がたくさん聞こえてきました。（写真・動画）最後のポーズも決まりましたね。ちなみに、校長先生はこの曲が気に入ってしまい、運動会が終わって2週間も経つのに、まだこの曲が頭の中をぐるぐる回っています。

2年生の「板五の呼吸 2年の型 ナルコ神楽」。鬼滅の曲に合わせて、可愛さとかっこよさが組み合わさっていました。（写真・動画）2年生も最後はかっこよく決めました。

3年生の「だいすき！板橋！ニリンソウルダンス」。去年は今の6年生が5年生のときにニリンソウルダンスを披露していましたが、3年生バージョンで、また違った元気がありました。（写真・動画）

4年生の「グレイテストT T T」。校長先生は、何十年も学校の先生をしていますが、棒を一人一人が持って踊るダンスは初めてだったので、とても素敵でした。（写真・動画）

5年生の「板五ソーラン節」。さすがは高学年！迫力とキレの良いソーラン節でした。（写真・動画）最後の決めポーズもかっこよかったですね。運動会後の振り返りで「だれがやる！を守って自分から積極的に声を出した」と書いていた人がいました。2学期の始業式の話覚えていて実行してくれたことが、とても嬉しかったですね。

そして、6年生の「友と 明日へ 未来へ」。6年生は、ディズニーの音楽に合わせて集団の美しさを見せてくれました。（写真・動画）さすが、6年生でしたね。

全校ダンスもみんなで楽しく踊りました。（写真・動画）

そして、閉会式では、原稿を見ないで、堂々と児童代表の言葉を発表した6年生はさすがでした。

他にも、5～6年生は、係活動でも、皆さんの競技の準備や片付けをするなど、たくさんところで運動会を支えてくれました。特に、応援団の人たちは、朝早く来て練習をしたりしていました。（写真）応援団の人を中心に、自分たちで応援をして盛り上がっている5年生や6年生もさすがでした。（動画）

6年生は、金曜日にイスを運んだり、先生たちと一緒にテントを組み立てたりしてくれました。（写真）

先生たちは、6年生が帰ったあとも、線を引いたりして準備をしました。（写真）でも、中には砂遊びをしている先生が…。（写真）…と思ったら、音楽のケーブルで足を引っ掛けたりしないように、ケーブルを土の中に埋めていたのです。

運動会の日（は）、おやじの会の人たちが朝6時から先生たちと、遮光ネットを張ってくれました。（写真）

運動会が終わったあとは、みなさんが教室に着替えて帰りの会をしている間に、お父さん、お母さんやPTAの人たちが、先生たちと一緒に片付けをしてくれたので、あっという間に片付けました。

皆さんには、何度か話をしていますが、板五小では、こうやって、6年生のお兄さん、お姉さんたちが、みんなの见えないところで、いつも一生懸命働いてくれています。

今回の運動会のように、皆さんが楽しいことや頑張ったことがあるときは、必ず「皆さんの見えないところで支えてくれている人たちがいる」ことを忘れないようにしましょう。

最後に、5年生の感想を何人か紹介します。「誰かが失敗しても優しく声をかけてあげたい」「負けても相手に気持ちのよい拍手ができるようになりたい」。運動会前に話したことをしっかりと受け止めてくれたこと、とても嬉しいです。運動会が終わってもぜひ、続けられるようにしましょう。

今年の運動会も、「サイコーでした！」

これで朝会のお話を終わります。

（裏面に「先生方へ」があります）

〈先生方へ〉

運動会から2週間が経ちましたが、改めてお疲れさまでした。かわいかった1年生、成長を感じた2年生、エネルギーで元気一杯の3年生、一人一人の個性が光った4年生、パワーと迫力にあふれた5年生、そして、下学年が憧れるカッコイイ姿「集団美」を見せてくれた6年生。皆さんのチームワークや臨機応変な対応により、無事に終了することができました。ありがとうございました。

さて、今回の児童朝会では、子供たちの表舞台の頑張りをメインに伝えていますが、その一方で、普段なかなか見えない陰の活動について、「見えないところで支えてくれている人たちがいる」ことをほんのわずかですが、目に見える形で触れました。日頃から、伝えていただいているとは思いますが、学年の実態に応じて、補足をしていただけると助かります。

話は変わりますが、私は常々、「アーティストのコンサートは、そのアーティスト本人がいないと当然できないが、アーティスト本人だけがいてもできない」と思っています。つまり、プロデューサーであり、ディレクターやAD、演出家、音響や照明、大道具…などなど、様々なスタッフがいてこそ初めて実施できるということです。

学校の行事や教育活動も似ています。「子供」という主役がいて、多くの行事において、下学年の陰には6年生（高学年児童）がスタッフも兼ねて働いています。そして、子供たちの裏には、担任がいて、それを支える専科の先生方、事務や用務、調理、栄養士などの皆さんがおり、さらに副校長がいて、地域やPTA、おやじの会などの大人がいます。

今回も運動会がうまくいったのも、ひとえに同じ目的に向かって一致団結している「チーム板五」によるものだと思います。見えるところ、見えないところでお互いが支え合っていることにこれからも感謝し合いながら、また次の教育活動に進んでいければと思います。運動会委員長の石垣先生、体育主任の今野先生をはじめ、担任の先生方、支えてくれた専科の先生方、裏方で働いてくださった教職員の皆さん、これまでの指導、準備・片付けも含めて、本当にありがとうございました。

また、翌週の区民まつりにおける鼓笛隊の音楽パレードもありがとうございました。

さて、運動会や鼓笛パレードが終わり、次は12月の展覧会に向けてすでに準備が始まっていると思いますが、行事と平行して、学習に集中して取り組めるように、学習規律や学習ルールなどを再確認し、徹底してください。ただし、引き締めるところだけでなく、緩めるところとのバランスも必要です。学年や児童の実態に合わせて、よろしくお願いします。また、今週は平日の学校公開や、2回目の授業研究会もあります。合わせてよろしくお願いします。

【資料1】 10月について

10月（じゅうがつ）はグレゴリオ暦で年の第10の月に当たり、31日ある。英語での月名、Octoberは、ラテン語表記に同じで、これはラテン語で「第8の」という意味の "octo" の語に由来している。一般的な暦では10番目の月であるが、紀元前46年まで使われていたローマ暦では、一般的な暦の3月が年始であり、3月から数えて8番目という意味である。

日本では旧暦10月を神無月（かんなづき、かみなしづき）と呼び、新暦10月の別名としても用いる。「かみな月」、「かんな月」の語源は不明である。以下のような説があるが、確かなものではない。いずれにしても「神無」は宛字としている。

- 釀成月（かみなしづき）：新穀で新酒を醸す月（大言海による）
- 神嘗月（かんなめづき）：新嘗（にいなめ）の準備をする月
- 神な月（かみなづき）：「神の月」の意
- 雷無月（かみなしづき）：雷のない月

出雲の出雲大社に全国の神様が集まって1年の事を話し合うため、出雲以外には神様がいないくなる月の意味というものがあるが、これは平安時代から言われている民間語源（言語学的な根拠が無いあてずっぽうの語源）である。出雲では神在月といわれる。出雲へ行かず村や家に留まる田の神・家の神的性格を持つ留守神も存在し、すべての神が出雲に出向くわけではないとされる。

【資料2】 11月について

11月はグレゴリオ暦で年の第11の月に当たり、30日間ある。日本では、旧暦11月を霜月（しもつき）と呼び、現在では新暦11月の別名としても用いる。「霜月」は文字通り霜が降る月の意味である。他に、「食物月（おしものづき）」の略であるとする説や、「潤む月（しぼむつき）」「末つき（すえつき）」が訛ったものとする説もある。また、「神楽月（かぐらづき）」「子月（ねづき）」の別名もある。

英語での月名、November（ノーヴェンバー）は、「9番目の月」の意味で、ラテン語で「第9の」という意味の「novem」の語に由来している。実際の月の番号とずれているのは、紀元前46年まで使われていたローマ暦が3月起算で、（そのため年末の2月は日数が少ない）3月から数えて9番目という意味である。